



協議会サイト

豊中駅前まちづくり

<https://toyonaka-machikyo.com/>



協議会SNS
Instagram

まちづくりの芽 .73 ゆっくり楽しく 歩き回れるまちを目指して

「令和8年豊中駅前七夕まつり」の報告

7月5日小雨が降り続く中、恒例の七夕まつりが開催されました。

昭和55年（1980年）に日頃お買い物して下さるお客さんへの感謝の気持ちとして、商業団体が始めて今回で44回目となります。

今では大池地区の様々な団体や商店街など地域で協力し合い豊中市と共催で実施されました。



当日、駅前人工デッキでは、音楽イベントに併せてミニマルシェや豊中市主催の短冊飾り、「どんなまちになって欲しい」黒板お絵かき、アンケート、一番街では100件の応募から40店が出店、銀座通りでは3回目になるキッチンカーが勢ぞろい。雨の中でも子供たちが思い思い楽しんでいました。



昨年始まった「仮称：石畳通り」の”みんなで大きな短冊を作ろう”には沢山の短冊で飾られました。また、看景寺からは七夕まつりの歴史写真の展示を兼ねた休憩所の提供がありました。

まちづくり掲示板

ご案内 「豊中駅周辺再整備を考える勉強会」

みなさまには豊中駅周辺のこれからを考える勉強会の案内をさせていただきます。

令和3年9月に策定された「豊中駅周辺再整備構想」は現在【フェーズ2】の取り組み・検討がされ、令和10年度には基本計画が策定されます。これを受けて協議会ではみなさまの考えを基本計画に反映させるため、勉強会を3回シリーズで実施します。ご参加お待ちしております。

記

第1回 豊中駅周辺再整備を考える勉強会

日時 8月18日（火）14時から

会場 大池コミュニティプラザ 参加費無料

お問い合わせ 090-8238-3425 事務局：小林

事前にお申込み頂けましたら幸いです

お申し込み先 fugu_hamo@wing.ocn.ne.jp

協議会事務局 小林

■【第1回】「歩きたくなるまちなか」って何だろう？

— 人中心の空間と豊中の可能性 — 8月18日（火）

■【第2回】空間をどう変える？

— 官民の役割と近似都市の事例から考える — 9月29日（火）

■【第3回】小さく始めて、まちを育てる

— 社会実験・エリアマネジメント・提案書へ — 10月20日（火）

駅前の花便り 53

花の植え替え時期を迎え、先月メンバーみんなに協力者も得て取り組みました。早朝から苗を運び込み、先ずは石灰に肥料を混ぜ肥沃な土の準備。事前に用意された図案を参考に、チームワーク良く、丁寧に植えその日の内に終える事ができました。サルビア、観賞用唐辛子、コリウス、日々草、百日草等々、それぞれに根づき始め、水やりも楽しみです。ポイ捨ては可愛い看板のお陰もあり減っています。『お花が泣いています。タバコのポイ捨てしないでね!!』みんなでマナーを守りましょう。



キョウチクトウ(本町4)

フヨウ(本町4)

ムクゲ(千里園)

ヤノネボンテンカ(本町3)

環境部会のメンバー募集！

【活動日】

不定期（都合のつく日だけで大丈夫です。）

ご連絡お待ちしております

【活動内容】

・年2回の植え替え 余った苗は各自持ち帰れます

・花の手入れ 花の手入れが学べます

（こもれびガーデン、三井住友銀行、りそな銀行）

・大池小学校の子どもたちとの共同作業

お問合せは06-6852-7661 コバヤシ（協議会事務局）まで

“写真で見るまちの今昔”【8回】「稻荷山公園はかつては池だった」

写真A：かつての稲荷神社

写真B：稲荷山公園

写真C：稲荷山公園グラウンド



写真Aは昭和5年（1930年）頃の豊高道から池越しに奥の鳥居方向を眺めたものです。池の護岸に板が打ってあります。かつては参道を挟んで両側に池がありました。現在は公園になっているところ（写真B）は上宮池、グラウンドになっているところ（写真C）は下宮池と呼ばれていたそうです。新免村などの田畑を潤すため池として長く利用されてきましたが、大正のころから水田が住宅地にかわりはじめ、その役割を終えることになりました。公園に整備されたのは昭和46年（1971年）と聞いています。

勉強会の内容は以下のQRコードをご覧ください



第17回

大池夏まつり

令和8年 8/22(土)

午後4時～午後7時30分

※雨天決行（雨天時は8/23に順延）

会場：大池小学校（自転車でのついでにOK）

フィナーレ 打ち上げ花火



《主催：大池夏まつり実行委員会 06-6848-0123》

当日は広報担当者が写真撮影し、広報誌により「かわはし」に掲載する可能性があります。ご了承ください。

